

Discovery



Summer
2020

株式会社日吉 vol.20

✉ info@hiyoshi-es.co.jp

🌐 www.hiyoshi-es.co.jp/



本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

新型コロナウイルス感染症への対応

日吉の事業である、上下水道・排水処理施設の維持管理や、水道水の検査などは日常生活に欠かせない業務として、どのような状況でも休むことなく行っています。市民の方から感謝のお手紙もいただいております。大変励みになっております。

今後も市民の皆さまへ安全と安心をお届けします。



近江八幡市へ

アルコール消毒液を寄贈 2020.4.30

新型コロナウイルス感染症予防のため、近江八幡市へアルコール消毒液を40ℓ寄贈しました。小西市長より、児童クラブで活用した旨、お礼状をいただきました。



【WEB】新卒採用会社説明会を実施

2020.5.13

例年、本社会場へ来てもらい会社説明や社内見学・従業員との座談会などを実施しておりますが、今回は新型コロナウイルス感染防止のため、初めてWEBでの開催を行いました。今後も時代に合った会社づくりを目指していきます。



表彰

環境 人づくり企業大賞 奨励賞を受賞 2020.4.1

環境人材コンソーシアムより、優良な取り組みが評価され大企業区分での奨励賞を受賞しました。



■日吉の取り組み 人づくりによる成果

- ・ 発展途上国からの技術研修生受入れによる環境グローバル人材育成
- ・ ABK-AOTS同窓会と共同でスピーチコンテストを断続的に開催 等

■人づくりの基盤形成のための取組

- ・ 滋賀県知事から職業訓練所として認定される「日吉塾」を設立
- ・ 社員の広域的視点での学びの場として「日吉ゼミナール」を定期で実施 等

健康経営優良法人2020へ認定 2020.3.2



経済産業省が制度設計を行う「健康経営優良法人2020 (中小規模法人部門)」に認定されました。

※従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められる大企業や中小企業等の法人を顕彰するものです。

連載 日吉インディアNOW



COVID-19の影響は日吉インディアのあるインドにも甚大な影響をもたらしています。インドの感染者数は7月中には100万人を超える予想され、感染拡大が続いています。3月24日早い段階で開始されたロックダウンはその後何度も延長され、現在も継続されています。チェンナイなどの一部地域では移動時間や範囲が制限され非常に厳しいロックダウン措置が取られています。各地には検問やバリケードが設置され、警察による厳しい取り締まりが行われています。日吉インディアは分析や生活排水処理施設の維持管理などのエッセンシャルビジネスを請け負っていますが、地方に帰省した従業員の移動許可が得られず、市内に残るわずかな従業員で業務を縮小して継続しています。そのような努力の甲斐もあり、お客様からは感謝のお声をいただくこともできました。まだ先の見えないパンデミックの中、従業員の安全を最優先に、この危機を乗り越えて行きます。





インターンシップ

モンゴルから廃棄物収集の現場研修受入れ 2019.10.22

京滋・モンゴル友好市民ネットワークから一般廃棄物処理の現場研修として2名を受入れました。本ネットワークではウランバートル市の生活環境の改善を目的として活動されています。

研修としては、一般廃棄物の収集方法から最終処分方法等の現場研修を行い、委託業者の役割を把握することで、将来のモンゴルにおける廃棄物の収集・処理システムのイメージを図りました。彼らは適切な分別と収集等のシステムに感心をされ、とても高い満足が得られた様子で帰国されました。



中国とマレーシアのインターン生を受入れ 2019.10.30

中国清華大学とマレーシアマラヤ大学の揮発性有機化合物（VOC）の研修を日吉で受入れました。この研修は、京都大学の教育受入れプログラムの一環であり、日吉では人材確保の他に、社員の自己成長やグローバル化の必要性を理解することを目的として、2011年より延べ126名の研修生を受け入れてきました。

分析担当より、VOCに関する基礎知識や日本の関連法令、前処理の実技等を研修し、データ解析の講義を行いました。彼らは本研修と簡易測定法ケイラックス®アッセイに興味を持たれ、有意義な時間を過ごされました。



国内インターンの受入れ 2019.11~2020.2

11月～3月に、11名のインターン生を受入れました。各学生が希望する分野の研修を実施しました。



ダイオキシン類についての説明や、実際の測定工程（抽出、精製、濃縮、測定）の見学を通して、培養後の細胞を顕微鏡で観察すると細胞の増殖が確認できて興味深かったです。また、農薬の分析では、実際に前処理の作業を体験して農薬の溶出液を濃縮する際に、すべてを揮発させないギリギリのところで濃縮を止める作業など、緊張感があり細かい作業を行うなど、貴重な経験になりました。

(国内インターンシップ) 京都先端技術大学、滋賀大学、長浜バイオ大学、龍谷大学、八幡商業高校、八幡中学校

学会発表・講演



米国Legionella conference2019にて口頭発表 2019.9.10～2019.9.15



米国カリフォルニアにてLegionella conference 2019が開催され、技術顧問の近藤が“Elucidation of the Microbiota in the Bath Water by 16S rRNA Metagenome Analysis”と“Development of Disinfectant for Legionella and Amoeba”の2題を口頭発表しました。

今回は、EPAのメンバーをはじめ、各州の行政、水道協会や配管協会の専門家や企業展示の方々と有意義な討論ができました。また、弁護士の発表があるなど、日本とは違う訴訟社会の一面も見ることができました。

第2回環境DNA学会にて講演 2019.11.3～2019.11.4

本学会が、神戸大学にて開催され、日吉はポスター発表や企業展示等を行いました。「イケチョウガイとヒレイケチョウガイの環境DNA解析を用いた簡易判定の試み」という題目で発表を行い、たくさんの方々にお立ち寄り頂きました。

日吉では2019年9月より「環境DNA種特異的分析」を開始し、龍谷大学RECラボにて業務を進めています。ぜひ、ホームページをご覧ください。

[日吉環境DNA](#) [検索](#)



海外事業



JICA草の根技術協力事業への参加 2020.2.17～2020.2.27

JICA草の根「ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市下水処理場管理・保全能力向上プロジェクト」のためミャンマー連邦共和国ヤンゴン市へ渡航し、本プロジェクトの最終報告会への参加と、ヤンゴン市下水処理場、同廃棄物処理場、ヤンゴン大学、日本大使館などを訪問しました。

本プロジェクトは、大阪市、株式会社 堀場製作所、株式会社 堀場アドバンスドテクノに、クリアウォーター OSAKA株式会社と日吉が協力しヤンゴン市にある下水処理場の維持管理技術の向上及び法整備を目指すものです。日吉は、維持管理と水質検査の指導を行い、マニュアルの作成や日常点検の実施、原理原則の解説など現地の人が継続して排水処理・分析ができることを目標にして取り組んできました。今後さらに、対処・解決・展開できる力が重要となってくると思いますので、引き続き意識的に取り組んでいきたいと思っております。



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 245kg/3,000枚